

# 新成人の主張

これまで自分が歩んできた過去を振り返る  
「励ましてくれた仲間」「応援してくれた家族」  
たくさんの言葉は今も心に響いている  
決して自分一人の力で歩んできたわけでない  
「新成人の主張」には感謝と決意が込められていた



▼看護師になるのが夢です。高校2年の冬、初めて経験した心肺蘇生。残念ながら助けられませんでした。自分の無力さとふがいなさに押しつぶされそうになりました。でも、そのとき支えてくれた人たちがいたからこそ、夢を諦めずに今も頑張っています。回復に向けて、懸命に頑張っている人の力になりたい。尊い、か細いと思う命だからこそ、そばで支えたいと思っています。  
佐々木脩人(花泉)

▼私は今年からビール会社に就職します。目標は、「自分が関わった」「自分が造った」と胸を張って言えるようなビールを製造すること。「とりあえず生」ではなく、ビールの本場・ドイツのように、ビールを名指しで注文することが当たり前になる、そんな時代をつくる一員になりたいです。  
清水上宙(一関)



▼私の母は、小さくてかわいくて、ノリがよくて、笑顔がすごく似合う人です。母には本当にお世話になりました。台所に行つては、手伝うわけでもなく愚痴を聞いてもらったり、帰りが遅い私に、変わることもなく「おかえり」と言ってくれます。これからは成人として、あなたの子として、自慢の娘になれるように自立を心掛けます。親孝行もします。今までもありがとうございます。これからもよろしく願います。  
菊池南(大東)



▼「全ての人に「ありがとう」」  
壇上で「主張」した鈴木啓介さんは、半年前に交通事故で重症を負った。止まらない吐き気、ままならない不自由な体。生きていることに嫌気がさした。そんな中、支えてくれたのは両親や友人だった。付き添ってくれる両親、メールや見舞いに来て笑わせてくれる友人の存在に救われた。  
「俺、すつげえ支えられて生きてるんだなって感じた。俺と出会ってくれた、全ての人がありがとう」。鈴木さんがありつただけの声で叫ぶと、会場は大きな拍手に包まれた。

平泉町の観光地の売店で働いています。優しく面白い先輩たちに囲まれ、楽しみながら仕事をしています。私の目標は先輩たちのように、広く目が行き届き、さまざまな仕事をこなせるようになること。ちょっとしたことで折れない強い心をもって仕事を続けたいです。

二十歳にとって自立という言葉は、特別な意味を持つと思います。二十歳の節目を迎え、自分のことだけでなく家族や周囲のことを思いやる精神的自立が求められていると感じています。

昨年の8月から、成人式企画実行委員として「みんなで盛り上げられる成人式にしよう」という目標を持って準備してきました。

今年の成人式のテーマは「RUN UP～思い描いた明日へ」です。未来に向かって前向きな気持ちで進もうという意味が込められています。

実行委員会による記念行事は、恩師からの「ビデオレター」と、感謝や夢をステージ上で発表する「新成人の主張」です。

過去の出会いや周囲に支えられたことを振り返り、感謝することで、これから続く自分の未来に、前向きに進むきっかけにしようと企画しました。

これから先、つらいこともあると思います。めげずに乗り越えて、私たちの年代が「強い子たちの年代」といわれるようになったら良いと思っています。

きくち・みほ(一関) 一関市成人式企画実行委員会委員長

## 菊地美帆さん



# 新成人の決意

「大人」とは、どんな人だろう。  
それは、社会と関わり、日々の生活を支え、自らを、家族を、地域を支える存在のこと。  
1,244人の新成人が描いた夢と希望は、  
新たな世代へと続いていく。



■千葉梨佳さん(藤沢)

一関高専で化学工学を勉強しています。自分のスキルを生かして、誰かの役に立つ仕事をしたい。元気に育ててくれた家族に感謝しています。



■佐々木万智子さん(室根)

市役所で働いています。仕事を通して生まれ育った地域に貢献することが目標。新しいことに積極的に挑戦して、自分の可能性を広げたいです。



■菅原真樹さん(千厩)

市内で製造業の仕事をしています。これからの人生、苦しいときもあるはず。経験と出会いから学んだことを生かして乗り越えたいです。



■千葉峻太さん(川崎)

一関准看護学校で学んでいます。中学生のときから目指していた看護師。責任をもって仕事ができる社会人になりたいです。



■佐藤潤也さん(東山)

市内の会社に勤めています。仕事を一つでも多く覚え、先輩の助けになる人材になりたい。愛車で全国を巡るなど自分の時間も大切にしたいです。

20歳の抱負  
感謝と夢を胸に  
Thanks and Dream



■熊谷祐汰さん(花泉)

今春、一関高専から千葉の大学に編入します。研究と新しい出会いの中でやりたい仕事を見つきたい。将来は両親にしっかり親孝行したいです。



■阿部吉さん(一関)

春から、千葉の大学に編入します。将来は、仕事を支えられる人になりたいです。家族への感謝を胸に、夢に向かって一步を踏み出します。



■千葉優里恵さん(大東)

市内で菓子製造業の仕事をしています。私のわがママをたくさん聞いてくれている家族に心から感謝しています。これからはお世話になります。